

耐震診断の結果の公表【要緊急安全確認大規模建築物（八代市が所管する分）】

【ホテル又は旅館】

建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
					内容	実施期間	
セレクトロイヤル八代本館	八代市本町二丁目1号8番地、6番地	ホテル	—	—	—	—	
鉄骨鉄筋コンクリート部分			（一財）日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2009年版）	$I_s/I_{so}=1.50 \quad C_{TV} \cdot S_D=0.58$	—	—	1階～4階
鉄筋コンクリート部分			（一財）日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_{so}=1.03 \quad C_{TV} \cdot S_D=0.50$	—	—	5階～10階
八代グランドホテル	八代市黄金町9-2, 9-1, 9-3, 9-4 旭中央通10-1, 10-2	ホテル	—	—	—	—	
鉄骨鉄筋コンクリート部分			（一財）日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2009年版）	$I_s/I_{so}=1.14 \quad C_{TV} \cdot S_D=0.45$	—	—	1階～4階
鉄筋コンクリート部分			（一財）日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_{so}=0.66 \quad C_{TV} \cdot S_D=0.33$	未定	未定	5階～8階

【老人ホーム、老人短期入所施設、保育所、福祉ホームその他これらに類するもの】

建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
					内容	実施期間	
かがやき園	八代市通町八号46番	有料老人ホーム	（一財）日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_{so}=1.02 \quad C_{TV} \cdot S_D=0.55$	—	—	

附表 耐震診断の評価と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法の名称		構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
		I (地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。)	II (地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。)	III (地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。)
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	鉄骨が充腹材の場合	$I_s/I_{so} < 0.5 \text{ 又は } C_{TU} \cdot S_D < 0.125 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so} \text{ かつ } 0.25 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)		$I_s/I_{so} < 0.5 \text{ 又は } C_{TU} \cdot S_D < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so} \text{ かつ } 0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$

- I. 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
 II. 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
 III. 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

※震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。
 いずれかの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。
 ※表に掲げる補正係数Zについては、別図(地域別地震係数)に示すとおりである。
 ※表に掲げる補正係数G、Rt、Uについては、備考欄に記載のある場合を除き1.0である。